

ふるさとわがまちづくり

東保見町自治区

◆「町名」の由来

東保見町は、豊田市街地の北西部に位置し、県道名古屋・豊田線(旧飯田街道)沿いの南北に細長い地区です。江戸時代は旗本内藤家の領地で伊保堂村と呼ばれていました。明治22年に町村制が施行されると、伊保村大字伊保堂となり、明治39年に町村合併が行われると、保見村大字伊保堂となり、昭和30年には猿投町に、昭和42年には豊田市に編入された。昭和45年に伊保堂は新町名の東保見町と改名しました。当時、伊保堂という名が消えたさみしさを感じた人もいました。

◆伊保遺跡(柵口地内)と根川(大松)古墳

東保見町は、伊保堂川に沿って弥生時代から人々が住みついていた。町内には伊保遺跡(柵口・郷地地区)、江古山遺跡、根川古墳、山洞古墳、矢遠古墳、エベケ古墳、弘法山古墳などの遺跡が残されていましたが、保見団地造成時に失われてしまった古墳も多くありました。

伊保遺跡は、保見町から東保見町にまたがる大規模な遺跡で、昭和44年の県営園場整備事業の際に発見されました。この遺跡は弥生時代から古墳時代にかけての遺跡で、数多くの竪穴式住居跡があり、弥生式土器、須恵器、土師器、木器などが多数出土しています。特に町内の柵口地内で大量に発掘されたタキ技法による土器は、全国的にも注目されています。



(写真提出:豊田市郷土資料館)



伊保遺跡の東南600m、伊保川と伊保堂川を見下ろす丘陵地帯にある根川(大松)古墳は、古墳時代中期の古墳で、明治19年に村人が偶然発掘しました。大型円墳石室で土器、劔、鏃、馬具、勾玉、管玉、金環など数多くの遺物が発見されました。当時、皇族の墓が発見されたということで村中が大騒ぎであったといえます。しかし、遺跡は明治22年に埋め戻されましたが、宮内庁には、当時発掘された勾玉、管玉の一部が保管されています。

◆貴船神社

貴船神社は、京都市左京区の貴船神社の分社の一つで、祭神である閻羅神(くらかみのかみ)は水の神で、古老の話によれば、干ばつが長く続いた時、雨乞いの祈願を受けると、2度までも大雨が降ったというご利益のある社です。

昭和45年に本殿、幣殿、拝殿、翼廊、社務所などを鉄筋コンクリート造りに新築しました。祭日は、10月の第1日曜日で、神事の後のふれあい祭りには、芸能発表やサンデーズ会員の皆様によるおでん、焼きそば、五平餅などの屋台が出て、たくさんの氏子が参拝して大変にぎやかです。「高い山から伊保堂みれば 御職忘れて 獅子が舞う」という謡も残っているように昔の人も、今の人も祭が大好きです。

◆旧猿投神社街道(旧東保見・加納線)と椿地蔵

東保見町は、往時尾張方面から猿投神社へ通ずる街道筋に家並みが発達しました。この旧

街道沿いに椿地蔵が立っており、神社へお参りする人々の安全を見守っていました。夜泣きをする赤子があると、竹で作った底のない柄杓をお供えすると夜泣きがやんだと伝えられ、今もお参りする人が多くいます。旧街道は9尺から1間と狭い道路でした。昭和2年3月に伊保堂地内の道路の拡幅工事が始まりました。中島地内で旧道の拡幅をすることは、西側・東側ともに家が並んでいるので難しく、家の西側の田の中に2間幅の道路が新設されました。道路工事の監督として「官員さん」(県職員)が派遣され、徳合院で寝泊りをし、お庫裏さんが食事の世話をしたといえます。地元住民は道路工事に人夫として参加し、1日の仕事が終わると「官員さん」から人夫賃を支払われました。当時の道路の用地代は、地元負担で33戸の伊保堂にとっては大きな負担であったといえます。



◆今後の課題

これまでは、世帯数も少なく、顔見知りの人が多く、大きなもめ事もなく、まとまりのある自治区として発展してきましたが、大池・新池の浚渫事業、地縁団体の設立、消防団員の激減、地震対策、高齢化への対応など早急に解決をしなければならない課題もたくさん抱えています。さらに、住宅開発計画もあり、数年後には世帯数が急増することも予想されています。それだけに地域住民は一体となって絆を強め、地域課題を自分の問題としてとらえ、これからの地域づくりに一人ひとりが積極的に参加していくことが必要です。

◆東保見町御殿万歳保存会

東保見町の万歳の歴史は、大正末期にさかのぼり、安城万歳、西尾万歳などとは異なる独自の万歳が発達し、伊保万歳とか、伊保の万歳と呼ばれていました。伊保の万歳は、御殿万歳、掛け合い万歳、三曲万歳からなり、最盛期には伊保の万歳師が全国各地を回っていました。昭和40年代になると、時代の変化と後継者不足から次第に衰退し、30年ほど前から途絶えていました。平成18年3月、東保見町の伝統芸能である伊保の万歳を復活しようとする機運が起こり、保存会が立ち上げられました。豊田市のわくわく事業の補助金の支給を得て衣装や道具を

東保見町自治区示一タ (H21.4現在)

設立: 昭和42年
世帯数: 84世帯
: 83世帯(昭和54年)
組数: 12組
面積: 0.447K㎡
自治区たより: 東保見町自治区だより
回覧: 月2回
ちびっ子広場: 1箇所
ふれあい広場: 1箇所
防犯灯設置箇所: 27箇所
小学校: 伊保小学校区
自治区会館: 東保見町構造改造センター